④　減損を認識するには至らなかった根拠
豊川団地から東山団地への移転に伴い生じた跡施設について有効利用を図るため「フィールドワークセンター」の設置等、教育研究の充実に資する計画があり、経常的な保守管理業務も行われているため、減損を認識していません。

⑶　翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産
①　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途	種類	場所
課外活動施設	建物 構築物	南部食堂 （愛知県名古屋市千種区不老町）
研究・教育施設	建物 構築物	理学部　A館・A２館 （愛知県名古屋市千種区不老町）
外来診療施設	建物 構築物	医学部附属病院　外来診療棟 （愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65）

②　使用しなくなる日

場所	種類	使用しなくなる日
南部食堂	建物 構築物	平成21年７月
理学部A館・A２館	建物 構築物	平成21年７月
医学部附属病院外来診療棟	建物 構築物	平成21年６月

③　使用しないという決定を行った経緯及び理由
翌事業年度以降の特定の日以後、固定資産の全部又は一部につき改修工事等に伴い取り壊しが行われるため、使用しないという決定を行いました。
④　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額
（単位：千円）

場所	種類	帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額の見込額
南部食堂	建物 構築物	21,714 1,863	174 —	21,540 1,863
理学部A館・A２館	建物 構築物	412,299 189	166,460 —	245,838 189
医学部附属病院外来診療棟	建物 構築物	94,785 1,316	— —	94,785 1,316

７．重要な後発事象
該当事項はありません。

財務諸表は、千円未満を切り捨てて表示しています。
ただし、利益の処分に関する書類（案）は、円単位で表示しています。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細
（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	60,172,543	3,034,121	323,044	62,883,620	14,075,611	2,982,459	457,869	—	563,402	48,350,139	
	構築物	2,832,869	183,763	4,628	3,012,004	950,111	185,782	14,829	—	18,371	2,047,062	
	機械装置	87,226	—	—	87,226	72,585	28,792	—	—	—	14,641	
	工具器具備品	4,149,840	376,820	102,408	4,424,252	3,862,389	286,424	—	—	—	561,862	
	図書	46,207	—	—	46,207	—	—	—	—	—	46,207	
	船舶	31,293	—	—	31,293	31,292	1,619	—	—	—	0	
	その他	1,200	—	—	1,200	1,199	—	—	—	—	0	
	計	67,321,180	3,594,705	430,081	70,485,804	18,993,191	3,485,078	472,699	—	581,773	51,019,914	